

キャンドル革命の源流 3・1 朝鮮独立運動 100 周年キャンペーン

1919 → 2019

日本と朝鮮半島の 関係を問い直す 6・30 スタート集会

講演 3・1 朝鮮独立運動から 100 年が問いかけるもの

チョ キョンダル

趙景達さん(千葉大学教授)

専門は近代朝鮮民衆運動史と民衆思想史、東アジア比較史・日朝比較史など。著書に「近代日本と朝鮮」(岩波書店・2012)、「植民地朝鮮と日本」(岩波書店・2013)、編共著に「近代日本のなかの『韓国併合』」(東京堂出版・2010)、「植民地朝鮮 その現実と解放への道」(東京堂出版・2011)、「近代日朝関係史」(有志舎・2012)、「東アジア近現代通史 19世紀から現在まで」(岩波現代全書・2014)など多数。



■他に2019年3・1に向けた取り組みについて

1919年3月1日、ソウルのタブコル(パゴダ)公園で独立運動家らにより独立宣言が読み上げられ、瞬く間に朝鮮全土に波及、200万人ともいわれる人びとが立ち上がった。写真は独立万歳を叫び行進する女性たち。日本は徹底した武力弾圧で臨んだ。



(地下鉄春日または後楽園下車すぐ)

日時 6月30日(土) **資料代1000円**

午後6時半開会(6時15分開場)

場所 文京シビックセンター26階

2019 3・1独立運動100周年キャンペーン

【呼びかけ人】 庵途由香(立命館大学教授)、石橋正夫(日朝協会会長)、内海愛子(恵泉女学園大学名誉教授)、瀨瀬厚(明治大学特任教授)、高田健(許すな! 憲法改悪・市民連絡会)、俵義文(子どもと教科書全国ネット21事務局)、外村大(東京大学教授)、中塚明(奈良女子大学名誉教授)、中原道子(「戦争と女性への暴力」リサーチ・アクションセンター[VAWW RAC]共同代表)、野平晋作(ピースボート共同代表)、長谷川和男(「高校無償化」からの朝鮮学校排除に反対する連絡会代表)、飛田雄一(神戸学生青年センター館長)、藤本泰成(フォーラム平和・人権・環境[平和フォーラム]共同代表)、船尾徹(自由法曹団団長)、矢野秀喜(朝鮮人強制労働被害者補償立法をめざす日韓共同行動事務局)、山田朗(歴史教育者協議会委員長・明治大学教授)、吉澤文寿(新潟国際情報大学教授)、渡辺健樹(日韓民衆連帯全国ネットワーク共同代表)、渡辺美奈(アクティブミュージアム 女たちの戦争と平和資料館[wam]事務局長) (50音順)

連絡先 東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1 ピースボート TEL:03-3363-7561 FAX:03-3363-7562